

問一 ウから

問二 イ人間の思い込みで迫害され、物語でも悪者のイメージとして

定着したことに残念な思いを持ち、今も人目につかないところ
問三 ろで野生に生きる希少で自分たちとは異なる他者としての畏
敬の念を抱くとともに、その世界に入り込んだことを後悔し
ている。

問四 (ムースの) 個体群が増加するかどうか試してみよう、ということ。

問五 A バイソン B 食物がなくなった C 家畜を襲う

D 人間に害を与える現象のシンボルとしての伝説が復活
E 狂ったようにオオカミを殺し続ける

問六 ムースの数を増やす目的でオオカミを殺したこと、結果として
問七 ムースの数は減少したまま、オオカミの生存が脅かされ
絶滅の危機となった、ということ。

問八 ア文化の多様性
問九 ウア

問一 1 本物の柚子 2 精巧な出来
問二 イ 1 精巧な出来
問三 ウ 1 精巧な出来
問四 ア 2 精巧な出来

問五 2 可奈が相手のことをイメージし、その人だけのものとして
作品を作っているのなら、間接的に贈られた自分はその
作品を持つことは、可奈の意図を無視したことになるのでは
ないかと申し訳なく思い、それを伝えることにためらいを感
じる気持ち。

問六 エ キャフェから見える桜の木 (十二字)

問七 エ キャフェから見える桜の木
問八 エ キャフェから見える桜の木
問九 エ キャフェから見える桜の木
問一 3 看板
問二 1 看板
問三 4 看板
問四 5 耕(す)
問五 2 待機
問六 3 収拾